

① 【共通科目】

令和7年度 シラバス

岐阜県立池田高等学校

教科名	数学	科目名	数学B	年次	2年次	単位数	2
教科書	新編数学B		副教材	Study-UP 数学B または 基本と演習テーマ数学Ⅱ+B			

1 科目の目標

数列、統計的な推測、ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的素養を広げ、数学的知識・技能を活用して問題を解決する態度を育てる。

2 学習について

- ① 授業の持ち物について : 教科書、問題集、ノート
- ② 予習の仕方について : 前もって、次回授業の教科書2頁程度を読んで、例題を解いて置く。
- ③ 授業の受け方について : <授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。>
- ア 授業は集中し、先生の説明をよく聞いて、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。
- イ 指示された教科書の練習問題を解き、答え合わせをして、理解できた点とそうでない点を明確にしましょう。
- ④ 家庭学習の仕方について : <家庭学習では、「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。>
- ア 授業で解いた問題を、もう一度解いてみて、理解度を確認する。
- イ 宿題は、出された当日に必ず自分の力で専用ノートに解答し、答え合わせをしておくようにしましょう。
- ウ 週末課題は、週末に解いて答え合わせをして週明けの最初の授業に提出しましょう。

3 学習計画

考查		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	<数列> ・等差数列、等比数列 ・いろいろな数列	・事象の離散的な変化を見だし、変化の規則性を数学的に表現する能力を身につける。 ・パフォーマンス課題を通じて数学的に考える能力を高める。
	前期 期末	<数列> ・漸化式 ・数学的帰納法	・事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象を数学的に捉える力と、帰納法の証明を他の証明との比較し、多面的に考察する。 ・パフォーマンス課題を通じて数学的に考える能力を高める。
後期	後期 中間	<統計的な推測> ・標本調査 ・確率変数と確率分布 ・二項分布と正規分布	・確率分布や標本調査の特徴を確率変数の平均、分散、標準偏差など用いて考察する。 ・目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータを用いて処理し、標本調査の方法を批判的に考察する。 ・パフォーマンス課題を通じて数学的に考える能力を高める。
	学年 末	<ベクトル> ・ベクトルとその演算 ・ベクトルと図形 ・空間ベクトル	・ベクトルの基本的な性質について理解する。 ・ベクトルの性質を用いて、図形について考察する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数学的活動を通して、深く体系的に理解できる。問題発見・解決の過程を自律的に遂行できる。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できるようにする。	粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考查・課題考查・授業内小テストの成績、課題学習におけるパフォーマンス課題の評価、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%

